

立川市・大町市 姉妹都市提携30周年 交流がつむぐ友好のきずな



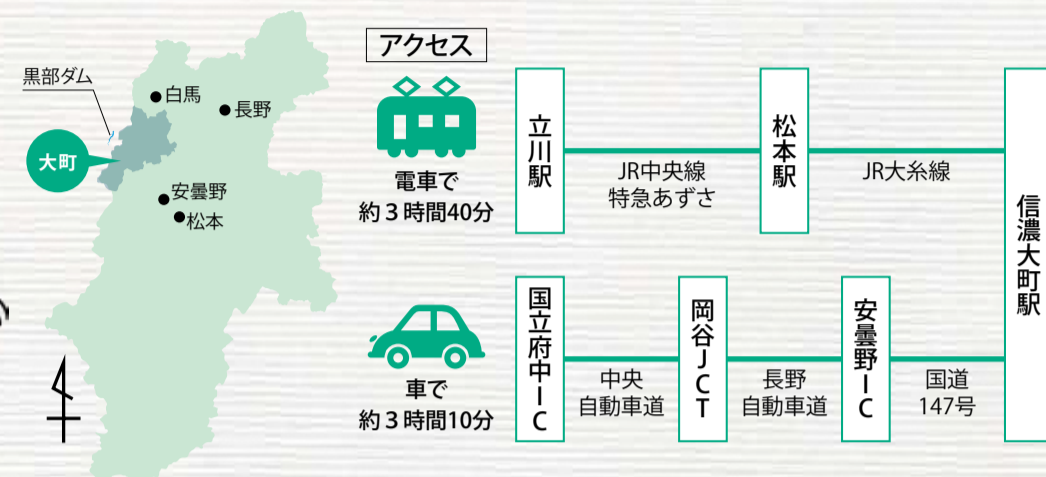
長野県大町市と立川市が姉妹都市の提携をして、3月25日で30年を迎えました。これまでの両市の交流を振り返るとともに、大町市の魅力をご紹介します。また、9月12日(日)に大町市で行われる30周年記念セレモニーの参加者も募集します。

立川市地域文化課・内線4501

●大町市ってどんなまち?

大町市は、長野県の北西部に位置する、雄大な北アルプスに囲まれた、自然豊かなまちです。立山黒部アルペンルートの玄関口としても知られています。

- 人口 約2.7万人(立川市は約18万人)
- 面積 565.15km²(立川市は24.36km²)
- 平均気温 10.5℃(立川市は15.9℃)



主な交流のあゆみ

- 昭和62年9月** 都市と農村を結ぶ交流事業で立川市民48人が大町市を訪問
- 昭和63年8月** 農産物の収穫などを体験するふるさと体験交流事業がスタート(平成9年まで)
- 10月** 市議会に「友好都市推進調査特別委員会」を設置
- 11月** バックリ市(現在のたちかわ楽市)に大町市の物産の出店が始まる
- 平成3年3月** 立川市と大町市が姉妹都市提携を結ぶ
- 5月** 大町ハイキングバスツアーを実施(平成11年まで)
- 平成5年から** スポーツ交流事業として体育協会加盟団体による自主的な交流が始まる
- 平成7年1月** 立川市中央図書館に姉妹都市関係資料コーナーを設置
- 4月** 災害時相互支援協定を締結
- 平成10年7月** 立川市の国外姉妹都市・サンバーナディノ市の交換高校生が大町市を訪問(平成20年まで)
- 平成14年2月** 姉妹都市提携10周年を記念し、交流演奏会「多摩のかけはし」を開催
- 平成22年4月** 大町市アンテナショップ・信濃大町アルプスプラザがオープン
- 8月** 大町森林保全隊を派遣(平成26年まで)
- 平成23年7月** 姉妹都市提携20周年を記念し、吹奏楽フェスティバルなどを開催
- 平成24年6月** 信濃大町アルプスプラザが立川市・大町市観光情報プラザとしてリニューアル
- 平成25年から** 小学生の図工作品の相互交流がスタート
- 平成27年7月** 姉妹都市中学生サミットがスタート
- 8月** 文化・観光分野の交流事業がスタート(令和元年8月まで)
- 令和3年3月** 姉妹都市提携30周年を迎える

アートのきずな

ファーレ立川アートがある立川市と、北アルプス国際芸術祭が行われている大町市は、アートを通じた交流も盛ん。北アルプス国際芸術祭2017では、「ファーレ立川 アート・ミュージアム・デー」で制作した屋外インスタレーション作品を展示しました。



立川市で制作されたプロペラ型の屋外インスタレーション(平成29年)

子どもたちのきずな

両市の中学校の代表生徒がお互いの市を訪問し、さまざまな体験を通じて魅力や文化の違いを研究・発表する中学生サミットを平成27年から開催しています。令和元年には「あなたもツアーガイド」をテーマに、大町市の魅力を英語で発表しました。



中学生サミットに参加した両市の生徒たち(令和元年)

緑のきずな

平成22年に立川市民約30人が「大町森林保全隊」として派遣され、巣箱づくりなどの森林保全体験に参加しました。また、立川市の木・ケヤキを大町図書館前に、大町市の木・オオヤマザクラを立川市庁舎前に、交流のシンボルとしてそれぞれ記念植樹しました。



大町市の鷹狩山で巣箱を取り付ける立川市民(平成22年)

災害時のきずな

平成7年には、災害時に人員の派遣や機材の提供など、円滑な応急対策や復旧活動等を行うことを定めた、相互支援協定を締結しました。この協定に基づいて、平成23年の東日本大震災の際には大町市から2,400リットルの飲料水が届けられ、立川市内の保育園等に配られました。



大町市から届いた水を運ぶ市職員(平成23年)

30周年記念セレモニー 参加者を募集

30周年を記念して大町市で行われるセレモニーに参加する方を募集します。参加者は「北アルプス国際芸術祭2020-2021」の準備の様子を見学できます。

●対象 市内在住・在勤・在学の小学生以上の方(小・中学生は保護者同伴)

●日時 9月12日(日)

●定員 25人程度(抽選)

●応募方法

8月18日(日)必着までに、参加者全員(代表者に○印)の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、在勤・在学の方は勤務先名か学校名を書いて、はがきまたはファクスで、〒190-0022 錦町3-3-20 地域文化課内「大町交流事業」係(525)6581へ



スケジュール(予定)

- 午前6時30分 たましんRISURUホール集合
- 午前7時 大町市へ出発(バスで移動)
- 午前11時 30周年記念セレモニーに参加
- 正午 昼食
- 午後1時 「北アルプス国際芸術祭2020-2021」の準備の様子を見学
- 午後4時 立川市へ出発(バスで移動)
- 午後8時 たましんRISURUホール到着

北アルプス国際芸術祭 2020-2021とは

「水・木・土・空〜土地は気配であり、透明度であり、重さなのだ〜」をコンセプトに、大町市内の5つのエリアで世界各国のアーティストの作品を展示します。総合ディレクターはファーレ立川アートを手掛けた北川フラムさん。会期等、くわしくは「北アルプス国際芸術祭2020-2021」のホームページをご覧ください。



もっと知りたい! 大町市の見どころ

四季折々の自然と食が楽しめる大町市の魅力をご紹介します。



山 日本有数の山岳地帯である大町市。家族連れで歩けるトレッキングコースから上級者向けのコースまで、レベルにあわせて楽しめます。



湖 仁科三湖と呼ばれる3つの湖。景色はもちろん、サップや湖畔キャンプなどのアクティビティも充実しています。



食 そばや地酒をはじめ、冷涼な気候ときれいな水に育まれた豊かな食が味わえます。ダムに見立てた黒部ダムカレーは迫力満点。

大町の食を立川で楽しもう! 立川市・大町市観光情報プラザ



立川市・大町市観光情報プラザ(信濃大町アルプスプラザ)では、大町市や立川市のお土産などを販売しています。大町市の素材と立川産の野菜を使用した日替わりのお惣菜も人気です。

- 所在地 柴崎町3-14-3
- 営業時間 午前11時~午後7時
- 休業日 火曜日(7月30日・31日は臨時休業)
- 電話番号 ☎(519)3086

30周年記念特典

「広報たちかわ」7月25日号をお持ちいただくと、8月1日(日)~9日(月・休)の間、対象商品が10%オフになります。



人事交流のため大町市役所から派遣され、立川市職員として働いている、太田さん